

原子力安全技術研究所の 「公募研究」について

1. 公募研究（一般）

■ 原子力安全技術研究所では、将来にわたる原子力の安全利用に必要な技術を中心として大学や研究機関と連携して取り組むことをねらいに「**公募研究（一般）**」を行っており、これによって広くアイデアを募集し、これまでにない視点で幅広い技術を見出すことに努めています。

■ 募集の概要

対 象：大学・公的研究機関・企業（静岡県内）

研究規模：**総額1億円（1件500万円／年×2年以内×10件程度）**

選 考：社外の学識経験者で編成した選考委員会（**アドバイザリ・コミッティ**）による選考を経て採択研究を決定

募集した研究のテーマ（領域）

1	原子力の将来技術に資する基礎基盤的研究
2	原子力発電所の安全性向上に資する研究
3	浜岡1, 2号機の廃止措置の改善に資する研究
4	浜岡3, 4, 5号機の保守性・作業性の向上に資する研究

■ 第1回（H25年度研究開始） 応募総数81件から**13**件を採択

■ 第2回（H26年度研究開始） 応募総数42件から**10**件を採択

2. 特定テーマ公募研究

■ 原子力発電所を将来にわたって安全に利用していくために**必要性の高い将来技術・新技術**に関して、研究開発を一層進めるとともに、原子力の将来を担う人材の育成に貢献することを目的に、募集するテーマを限定し研究規模を拡大した「**特定テーマ公募研究**」を実施しています。

■ 募集の概要

対 象：大学・公的研究機関

研究規模：**総額1億円／件、研究期間5年以内、1件を採択**

選 考：選考にあたり、社外の学識経験者の意見・アドバイスをいただき、当社で採択研究を決定

募集した研究のテーマ（領域）

1	使用済燃料・放射性廃棄物の処理・処分に関する研究
2	既存のBWR炉の安全性向上のための新技術に関する研究
3	新しい概念に基づいた新型原子炉の開発に関する研究

■ コメント 第1回（H26年度研究開始） 応募総数10件から**1**件を採択

3. H26（2014）年度の公募による採択研究

（敬称略）

公募研究（一般）

<領域1>原子力の将来技術に資する基礎基盤的研究

研究テーマ名	研究代表者
多孔質シリカを活用する放射性廃液処理の新展開	名古屋大学 榎田 洋一
マイクロ化学チップを用いた革新的再処理工場用分析システムの開発	東京工業大学 塚原 剛彦

<領域2>原子力発電所の安全性向上に資する研究

研究テーマ名	研究代表者
巨大地震時の鋼構造物の低サイクル疲労破壊予測と制御	名古屋大学 舘石 和雄
ガイド波による配管広域監視法の高度化 （ガイド波によるスクリーニング手法の開発）	徳島大学 西野 秀郎
衛星測位データを利用した電離圏観測による早期津波予測の高精度化	東京学芸大学 鴨川 仁
生体内におけるセシウムおよびストロンチウムの吸収抑制および排泄促進効果を示す食品素材とその有効成分の探索	静岡県立大学 増田 修一
不燃性溶媒の利用による放射性同位元素の除去に関する研究	東北大学 山村 朝雄
ぬれと微細孔制御によるパッシブ超高温熱流束除去技術の開発	横浜国立大学 森 昌司
耐放射線FPGA(Field Programmable Gate Array)の研究開発	静岡大学 渡邊 実

<領域3>浜岡原子力発電所1, 2号機の廃止措置の改善に資する研究

研究テーマ名	研究代表者
照射材破壊靱性値の試験片寸法依存性補正手法を用いたミニチュア破壊靱性試験片の開発	福井大学 飯井 俊行

特定テーマ公募研究

<領域1>使用済燃料・放射性廃棄物の処理・処分に関する研究

研究テーマ名	研究代表者
加速器駆動システムによる核変換処理の実現に向けた要素技術の基盤構築	京都大学 卞 哲浩